

平成25年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) (国補)・県単

事業名	治水事業〔統合一級河川整備事業(国補)〕		事業箇所	甲府市下曾根町	地区名	間門川	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況 なし			
計画期間	H15年~H26年	—	—					
総事業費	1,401百万円	—	—					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 甲府市を流れる間門川流域は、国道140号、358号沿いを中心に市街化が進んでいる。その一方、間門川の流下能力は低く、台風・集中豪雨時には、たびたび浸水被害が生じている状況である。 現況河道は狭小であり、計画流量48m ³ /sに対し、15m ³ /s程度(31%)の能力しかなく、平成12年9月の秋雨前線により、床下浸水が18戸、田畑の冠水が2.7haの浸水被害が生じた。 このため、流下能力の拡大に重点をおいた河道拡幅や放水路整備により治水安全度の向上を図り、氾濫を防止する事を目的とする。					②評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕 ①地域・住民の意向状況 平成12年、平成16年及び平成23年に浸水被害が発生したことから、地域住民は本事業の早期完成を望んでおり、用地取得も全て完了している。 ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針変更 なし ④上位計画・関連事業計画等の変更 なし ⑤自然環境条件等の変化 なし ⑥その他 なし			
②事業概要 10年に1度の割合で発生する洪水を河道で安全に流下できる改修を進める。 全体改修延長 L=920m 計画流量 48m ³ /s 治水安全度 1/10(時間雨量 43.7mm/h)								
③全体計画								
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度		③(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕 ・事業採択時計画における事業全体B/C(平成15年度) 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C(平成25年度) 6,177百万円 / 1,785百万円 = 3.46 > 1.00 (国土交通省治水経済調査マニュアル(案)により算出 採択基準値1.00以上)			
工事内容	放水路：一式 掘削：368m 護岸：736m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式	掘削：257m 護岸：114m 測量設計：一式	掘削：295m 護岸：108m 道路橋：1橋 伏越：一式					
事業費	1,206百万円	80百万円	115百万円					
④特記事項 間門川は、平成12年洪水を契機に平成15年に着手しているが、それ以降も平成16年、平成23年と浸水被害が生じている。 ・平成12年9月：(秋雨前線)の影響により、浸水家屋18戸、農地2.7ha ・平成16年10月：(台風22号)の影響により、農地0.78ha ・平成16年10月：(台風23号)の影響により、浸水家屋15戸、農地38.5ha ・平成23年9月：(台風15号)の影響により、浸水家屋1戸、農地4.4ha								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 なし</p> <p>②施行済みの事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">現計画 平成25年度迄</th> <th style="width: 45%;">実施 平成25年度迄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">工事内容</td> <td>放水路：一式 施工延長：625m 掘削：625m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式</td> <td>放水路：一式 施工延長：425m 掘削：425m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,286百万円</td> <td>1,251百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③進捗率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H15年度</th> <th>H16年度</th> <th>H17年度</th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>4%</td> <td>19%</td> <td>39%</td> <td>44%</td> <td>55%</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>2%</td> <td>4%</td> <td>6%</td> <td>9%</td> <td>11%</td> <td>31%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>*H25年度</th> <th>H26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>69%</td> <td>74%</td> <td>80%</td> <td>86%</td> <td>92%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>56%</td> <td>69%</td> <td>72%</td> <td>82%</td> <td>89%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table> <p>*再評価年度 H25は実績見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 事業当初は用地取得に時間を要し、進捗に遅れが生じていたが、その後、地域の協力によりH20年度より集中的に工事を推進した結果、現在ではほぼ計画どおりの進捗となっている。</p>		現計画 平成25年度迄	実施 平成25年度迄	工事内容	放水路：一式 施工延長：625m 掘削：625m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式	放水路：一式 施工延長：425m 掘削：425m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式	事業費	1,286百万円	1,251百万円		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	計 画	4%	19%	39%	44%	55%	62%	実 績	2%	4%	6%	9%	11%	31%		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	*H25年度	H26年度	計 画	69%	74%	80%	86%	92%	100%	実 績	56%	69%	72%	82%	89%			算出方法	計 画	計画事業費/総事業費×100	実 績	実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 用地取得が完了したため、事業執行上の問題点はない。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 予定どおり平成26年度完了の見込みである。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 なし</p> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 河床に起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保するなど、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した計画としている。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他 ()</p> <p>(理由) 浸水被害解消のため、今後も事業を継続する。</p>
	現計画 平成25年度迄	実施 平成25年度迄																																																								
工事内容	放水路：一式 施工延長：625m 掘削：625m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式	放水路：一式 施工延長：425m 掘削：425m 護岸：850m 道路橋：2橋 用地補償：一式 測量設計：一式																																																								
事業費	1,286百万円	1,251百万円																																																								
	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度																																																				
計 画	4%	19%	39%	44%	55%	62%																																																				
実 績	2%	4%	6%	9%	11%	31%																																																				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	*H25年度	H26年度																																																				
計 画	69%	74%	80%	86%	92%	100%																																																				
実 績	56%	69%	72%	82%	89%																																																					
	算出方法																																																									
計 画	計画事業費/総事業費×100																																																									
実 績	実施事業費/総事業費×100																																																									

添付資料シート（2）

■現況等写真（改修前・改修後）

写真① 新聞門川橋より上流の様子

事業着手時（改修前）



事業完了後（改修後）



写真② 新大堀川橋より下流の様子

事業着手時（改修前）



事業完了後（改修後）



添付資料シート（3）

■現況等写真

写真③ 新設放水路の様子（改修後）



写真④ 改修区間上流端より下流の様子（改修前）



■平成23年9月21日 台風15号 出水状況写真

写真⑤ 国道358号橋（平和通り）より下流方向 21日15時40分頃



写真⑥ 国道140号 冠水状況 21日15時40分頃



■航空写真

省 略